

株式会社カネゲン

2019年度環境活動レポート

(2018年7月～2019年6月)



作成日： 2019年9月10日

目次

1、環境方針		P. 2
2、登録事業所の概要		P. 2
3、環境経営システム組織図		P. 3
4、主な環境負荷の実績		P. 4
5、環境目標及びその実績		P. 4
6、環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取り組み内容	・	P. 5
7、環境関連法規制等の遵守状況		P. 6
8、その他の取り組みを紹介		P. 6
9、代表者による評価		P. 7

環境方針

<環境基本理念>

株式会社カネゲンでは、相互扶助の原理に基づいて三方よしの経営を行い、社員一人ひとりが地球環境の保全向上が人類共通の最重要課題であることを認識し、環境負荷の継続的低減及び持続的に発展できる社会の実現に寄与すべく全社一丸となって取り組みます。

<環境方針>

- 1、 当社の事業活動を通じて、二酸化炭素、産業廃棄物、使用総水量の削減に努めます。また、省資源、省エネルギーにつながる設備投資を継続的に検討・実施します。
- 2、 当社の事業活動を通じて、エコマーク商品やグリーン商品等、環境にやさしい商品の使用、販売を積極的に実施します。また取引先企業に対して環境経営の啓蒙活動をいたします。
- 3、 環境関連の法規制や遵守すべき事項を、企業の社会的責任として遵守します。
- 4、 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、技術的・経済的に可能な範囲で環境活動計画を設定し継続的に維持・改善を行います。また環境活動を公開します。

制定日 : 2013年1月8日

株式会社カネゲン 代表取締役社長

兼杉裕介

□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名

株式会社カネゲン

代表取締役社長 兼杉 裕介

- (2) 所在地

本社：埼玉県さいたま市北区宮原町4丁目84番

盆栽支店：埼玉県さいたま市北区盆栽町458

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部部長 和田 賢 TEL：048-667-4111

担当者 盆栽支店長 細井 英夫 TEL：048-871-5514

- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）

文具・事務用品 卸売

- (5) 事業の規模

年商（2019年度） 23.3億円

	本社	支店
従業員	34名	24名
延べ床面積	386㎡	337㎡

- (6) 事業年度 7月～翌年6月

- (7) 対象範囲（認証・登録範囲）

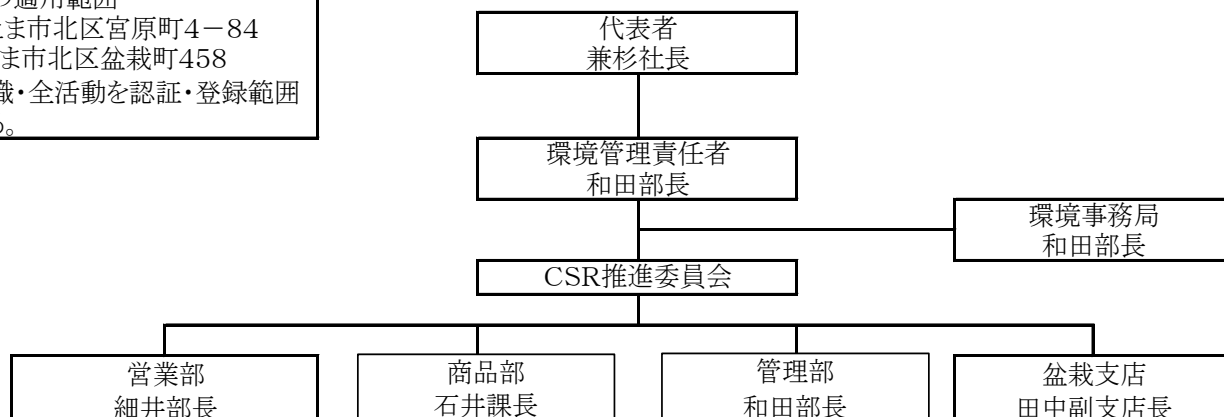
本社・盆栽支店、全組織・全活動を認証・登録範囲とする。

□環境経営システム組織図

株式会社カネゲン

環境経営システム組織図

認証・登録の適用範囲
住所:さいたま市北区宮原町4-84
さいたま市北区盆栽町458
活動:全組織・全活動を認証・登録範囲とする。



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。
CSR推進委員会	・CSRへの取り組みに関する企画立案。 ・CSR取り組み方針や施策などの浸透を図る。 ・CSR取り組み計画の進捗管理、管理体制の構築。 ・CSR社員教育・研修の実施。 ・CSR関連情報の収集と社内外への情報発信、啓発活動の推進。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開。(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2014年度 2013/7-2014/6	2015年度 2014/7-2015/6	2016年度 2015/7-2016/6	2017年度 2016/7-2017/6	2018年度 2017/7-2018/6	2019年度 2018/7-2019/6
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /	76,577	77,523	59,065	52,291	52,652	55,498
廃棄物排出量	トン/年	—	50	51	47.64	45.63	46.67
一般廃棄物排出量	トン/年	—	4	4	3.32	3.35	3.11
リサイクル廃棄物排出量	トン/年	—	45	47	44.00	42.27	43.56
リサイクル率			1	1	93.0%	92.7%	93.3%
産業廃棄物排出量	トン/年	—	1	0	0.32	0.00	0.00
総排水量	m ³ /年	407	372	372	342	384	381

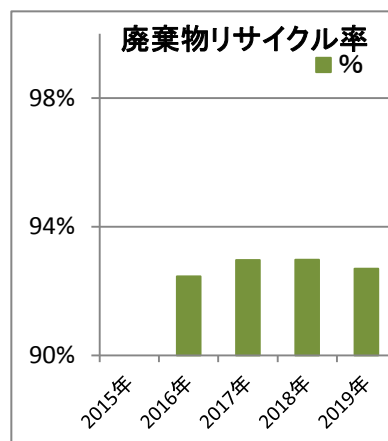
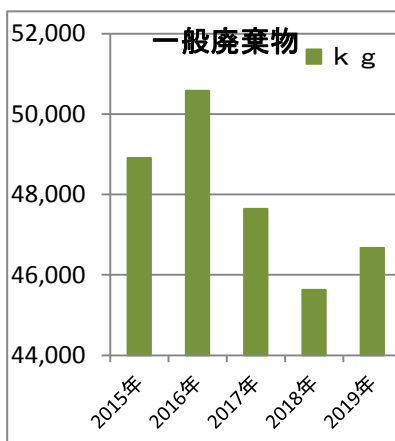
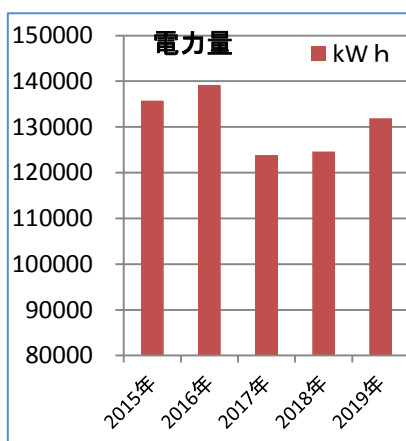
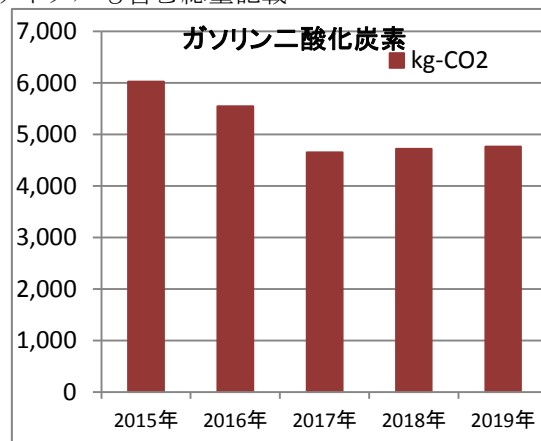
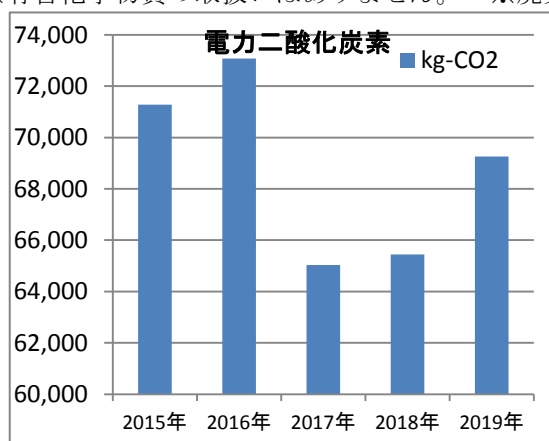
※廃棄物排出量に関しては基準年度は記録しておりませんでした。※廃棄物排出量は最終処分量にて記載

□環境目標及びその実績

項 目	年 度	2014年度 2013/7-2014/6	2017年度 2016/7-2017/6	2018年度 2017/7-2018/6	2019年度 2018/7-2019/6		2020年度 2019/7-2020/6
		基準年度	(実績) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(実績) 昨年対比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	69,912	47,445 68%	47,741 68%	65,717 94%	50,527 106%	65,018 93%
ガソリンの二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	6,428	4,653 72%	4,720 73%	6,042 94%	4,761 101%	5,978 93%
液化石油ガスの二酸化炭素	kg-CO ₂	238	194 82%	190 80%	226 95%	210 110%	224 94%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	76,577	52,292	52,651	71,985	55,498	71,219
一般廃棄物の削減	(Kg/年) 比率による想定値	49,657	47,642 —	45,626 —	47,174 95%	46,266 101%	46,677 94%
産業廃棄物の適正処分	(Kg/年)	0	320 —	0 —	330 %	0 %	300 %
節水	(m ³ /年)	407	372 91%	384 94%	387 95%	381 99%	383 94%

※廃棄物排出量に関しては基準年度は記録しておりませんでした。

※有害化学物質の取扱いはありません。 ※廃棄物はリサイクルも含む総量記載



□環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取組み内容

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評 価（結果と次年度の取組み）
電力の削減 ・事務所推奨設定温度推進 （冷房28℃ 暖房20℃） ・不要照明の消灯を促進 ・機器類未使用時のOFF習慣 ・LED電球への変更 ・節電・クールビズ運動推進 ・電力削減手順書の作成	基準年度 目標 実績	69,912 65,717 50,527	kg-CO2 94% 72%	継続して夏場の倉庫内空調使用前にファンにて 空気循環の実施と不要照明消灯の実施。 残業を削減する為、申請制の徹底を図る。 気温上昇に伴い、数値に反映は難しかった。 部門別5Sの実施。 各部門20項目の5Sチェックリストを作成し、 実施を行った。
ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・車利用機会の削減 ・冷房の控えめ使用	基準年度 目標 実績	6,428 6,042 4,761	kg-CO2 94% 74%	エコ運転推進の運転日誌を継続実施。 公共交通機関利用を促進。 同乗人数や荷物量の記録を確認し、車両の 適切度確認。 月1回空気圧点検継続。 営業車1台削減を検討。次期削減予定。
廃棄物のリサイクル率UP ・分別廃棄の実施 ・廃棄物削減方法の検討 ・分別処理場の見学 ・巻き芯ゴミ回収エコ活動継続 ・裏紙使用・PPC用紙使用量削減 ・マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動	基準年度 目標 実績 前年比	49,657 47,174 46,226 101%	kg 95% 93% 101%	・出荷先でゴミとなる出荷梱包用ダンボール 箱の削減を目指し、リコンによる出荷を実施 する為、500個のリコンを追加購入。 ・廃棄物置き場のレイアウト変更後を維持 し、廃棄物置場の分かり易さを徹底。 ・廃棄物置き場の整理強化を含め、5S運 動の継続推進。 ・仕出し業者へも再度割り箸不要を通知。
産業廃棄物(廃プラ)の適正処分	基準年度 目標 実績	— 300 0	kg % %	・プラスチック・ビニールゴミ分別方法の 変更を検討し、実施を予定したが、費用 や置場の問題で、今期実施出来ず。 来期の課題とする。 今期は処分していない。
省資源 ・ペーパーレスの取組み ・使用済み用紙、裏紙の活用		— —		管理表類の印刷廃止 使用済FAX用紙有効利用 巻き芯リサイクル継続
節水 ・節水の呼び掛け、POPの掲示 ・節水対策 ・水漏れチェック	前年 目標 実績	384 381 383	m ³ 99% 100%	特記事項特に無し
グリーン購入 ・用度品のエコマーク品へ切換え	前年 目標 実績	— —		現状使用している用度で、切換えられる 商品が少ない為、限度あり。
本業に関わる環境への配慮 ・エコマーク認定商品・グリーン購入適 商品の販売比率アップ	前年 目標 実績	— —		エコ商品登録を継続し促進しているが エコ商品の割高価格の問題も有り、比率 は変わらない為、別テーマを検討する。
総括（結果と今後の方向） ・活動チームを部門別4チームにてそれぞれ20項目の5Sチェックシートを作成し、5Sを促進。 入荷 スペースの大幅変更を含め、整理出来ている箇所と出来ていない箇所の差が大きく、全ての項目に対し適切 なチェックが出来ていない。 継続して定期的なチェック体制と、社内での活動アピールと意識を高められ るような工夫が必要。				

※廃棄物の実績集計は2013年度途中から実施した為、基準年度数値は未記入。

※二酸化炭素の排出係数は、㈱サイサンの2015年度の実排出係数0.383kg-CO2/kWhを使用しました。

□環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
資源有効利用促進法	リサイクル法
グリーン購入法	国・その他公共団体、地方公共団体：努力義務、国民：責務のみ
下水道法	公共下水道を使用
労働安全衛生法	職場における労働者の健康と安全を確保し、快適な作業環境をつくる
フロン排出抑制法	業務用空調設備の定期点検

※廃棄物処理法遵守については、収集運搬者・処分業者との契約済、マニフェスト伝票（A票～E票）管理済、産業廃棄物管理票に関する報告書提出済、産業廃棄物置場の設置と看板表示済。

※過去5年間、環境関連法規制等への違反・訴訟及び環境に関する外部からの苦情はありませんでした。

※環境関連法規制等の遵守状況の定期評価・環境法規制等の逸脱はありませんでした。

□その他の取り組みを紹介

部門別5S診断チェックリストの運用実施

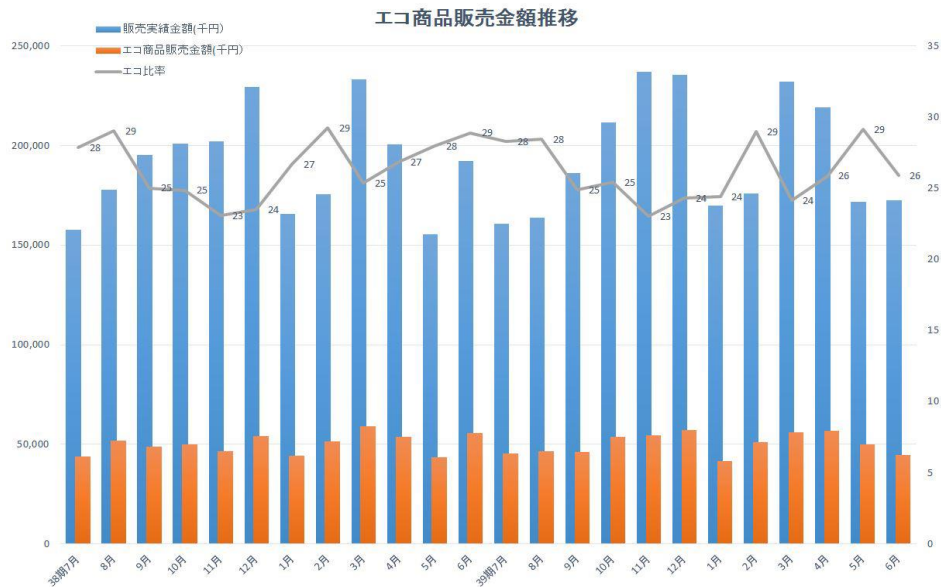
カネゲン 5S診断チェックリスト					診断者 細井					診断者 細井										
部門名		益裁支店		診断日 2018/8/3											診断日 2018/10/12					指摘事項
分類	担当	チェック項目			5点	4点	3点	2点	1点	5点	4点	3点	2点	1点						
1	田中	用度品の管理が出来ているか						●					●							
2	細井	共通書庫内の不用品は無いか						●					●							
3	西尾	配線がきちんと設置されているか						●					●							
4	田村	ゴミ箱に汚れ・傷みは無いか				●							●							
5	山口	パソコンの周辺に汚れが無いか						●					●							
6	田中	清掃用具は正しく元の位置に戻されているか						●					●		*清掃用具を吊るす要改善					
7	田中	通路・床に輪ゴムが落ちていないか						●			●									
8	田村	ラインテープに汚れ・剥がれは無いか						●					●							
9	田村	倉庫出入り口の安全確認が出来ているか						●					●							
10	坂本	帳票類の整理が出来ているか						●					●							
11	森田	掲示物はわかりやすく掲示されているか						●					●							
12	田中	備品置き場は整理されているか						●					●							
13	西尾	季節用具の管理は出来ているか						●						●						
14	田中	給湯室の管理は出来ているか						●					●							
15	細井	SSは維持されているか						●					●							
16	森田	個人サンプル棚は整理されているか							●				●							
17	山口	什器の整理はされているか							●					●						
18	田村	パレットの管理はされているか						●			●									
19	田村	益裁共有フォルダーは整理されているか						●					●							
20	西尾	空調フィルターは清掃されているか						●						●						

オリコン500個追加購入



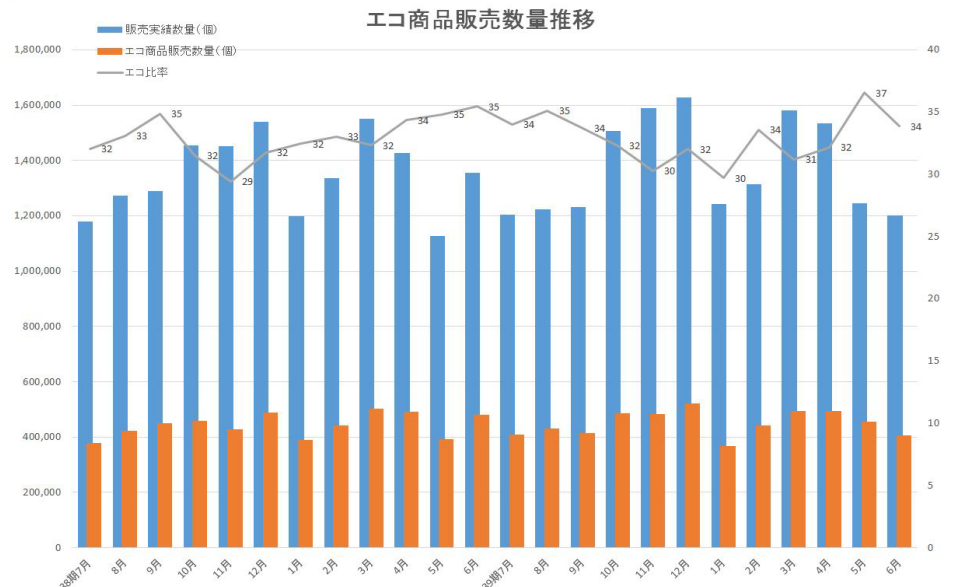
オリコン出荷に伴い、2段積載可能となり
出荷トラックの台数削減にも貢献

エコ商品販売推移



数量エコ比率 28.86%
 昨年対比 98.1%

金額エコ比率 32.74%
 昨年対比 99.6%



□代表者による評価

エコアクション21の活動も5年を経過いたしました。目標達成へ向けた士気の低下や改善活動への取組においてもあまり活発な活動を実施することのできない一年となってしまいました。来年度へ向けては、取組目標達成に向けた活動がしっかりと行われるような工夫をしながら、5S活動の更なる推進とエコ認定商品及びグリーン購入法適合商品の販売比率の活用、精度向上への取り組みを中心に取り組んでいければと思います。

株式会社カネゲン 代表取締役社長
 兼 杉 裕 介